



学びが「人生の楽しさ」を教えてくれる

大人の「学び直し」

「人生100年時代」といわれ、文部科学省でも社会人の学び直しを推進する制度を設けるなど、「学び直し」に今、注目が集まっています。キャリアアップや再就職などに繋げていくことはもちろん、「教養を高めたい」「趣味を深めたい」など、人生を楽しむための再設計として学ぶ人が増えています。そこで、学ぶことで充実した時間を過ごす素敵な人たちをご紹介します。

花から教わるシンプルライフ



いけばな教室 悠月庵では「引き算の美学」をコンセプトに、実践的な花の扱いなどを提案したレッスンを行っている。この「引き算の美学」を身につけると、余白から考えるシンプルな「想像力」が養われ、無駄な思考を回避し三歩先まで予測する「判断力」が磨かれるという。「本当に自分に必要なものがわかる」「決断力」を持てるようになります。これらの力は普段の暮らしや仕事など様々なところで活

合いが持てる場、困った時に思考をリセット出来る場でありたいですね。

レッスン後にはティータイムも。先生や生徒同士の会話が弾み、和やかな空気感。

学ぶことで新しい楽しみが生まれる

昨年6月から毎週通う生徒のおかさんは、現在割烹料理店に勤める。「和につながることをしたい」と先のことを考えて習い始めたという。「お教室はいろんなつながりができる場所です。私自身、お店や家でお花を生けるようになり、見方が変わってきました。先生みたいになりたいと、目標もでき、いざれお仕事にしたいと思っています」と、いきがいを感じている。好きなことを学び、それを仕事にする。そんな世界を広げられるのも学ぶ楽しさの一つのようだ。大阪市内から姉妹で体験に来ていた、姉・のぞみさんと妹・まなさんに話を聞くと、「今年1月に行われた書初めと花のコラボイベントに参加してみてもいいかな」と面白かった。いけばなの基本を知りたいと思いついた。まなさんは「この体験でいけばなの面白い世界を知ることができ新鮮でした。先生の作品を見て素敵だなと思っていて。お花に興味があったのでいきっかけになりました。日常生活にも役立つそうです。自分磨きにもなりそう！」と満たされた表情を浮かべる。ここでは、いけばな教室だけでなく、定期的に書道とのコラボレッスンをしたり、三味線やジャズとのコラボイベントを行うなど、様々な方面からいけばなの楽しさを知ってもらう機会をつくっている。また、「着物を着てレッスンをしたい」との生徒のリクエストで、着物を着てしめ飾りを作るレッスンをしたことも。いずれも参加者の表情は楽しそう。いけばなと聞く「強いイメージ」「ハードルが高い」と感じる人も多くは、しかし、この教室に通うのは20代後半〜40代の女性が多い。こういったイベントがきっかけになったり、先生の教えに共感する女性が多いのだろう。いけばなに限らず、興味のある人は一度体験会に参加することで、これから私にもできそうと、新しい楽しみを発見できるかもしれない。

取材を終えて

学びは充実した時間を生み出すなど、様々なことを得られると、この取材を通して感じた。人生を楽しくしてくれる、そんな自分に合った学びをぜひ見つけてほしい。



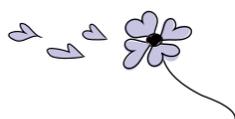
data

悠月庵 恵甫 先生

Yugetsuan Keiho

未生真流

「正教授」「総会司師範代」



なおかさん
歴8か月

「最近では盆栽にも興味が出てきました」と興味の幅を広げている。



まなさん&のぞみさん
体験

イベントでいけばなを体験したことをきっかけに「家にお花を飾る習慣ができました」。



先生が少し手直しするだけで見え方がガラッと変わる様子に感動するのぞみさん。



小さな色紙に今年の一字を想いを込めて書き、花で彩り写真に残す。「2018年の私」を書きと花で表現する。2018年1月実施。

2017年10月に実施された「秋の夜長に伝統文化を楽しむ大人の時間」。自分で花を選ぶミニ生け花体験、三味線とハンドパンのライブ、酒心館スタッフによる日本酒ミニ講座で盛り上がった。



【取材協力】

華道未生真流

いけばな教室 悠月庵

神戸市東灘区御影石町2-13-20

御影サンハイム1F

☎078-777-7507

https://www.yugetsuan.com/